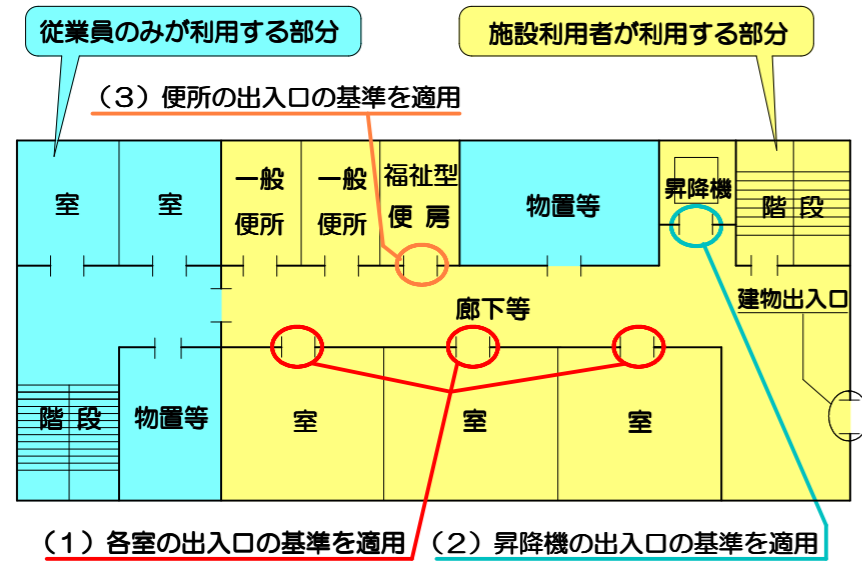


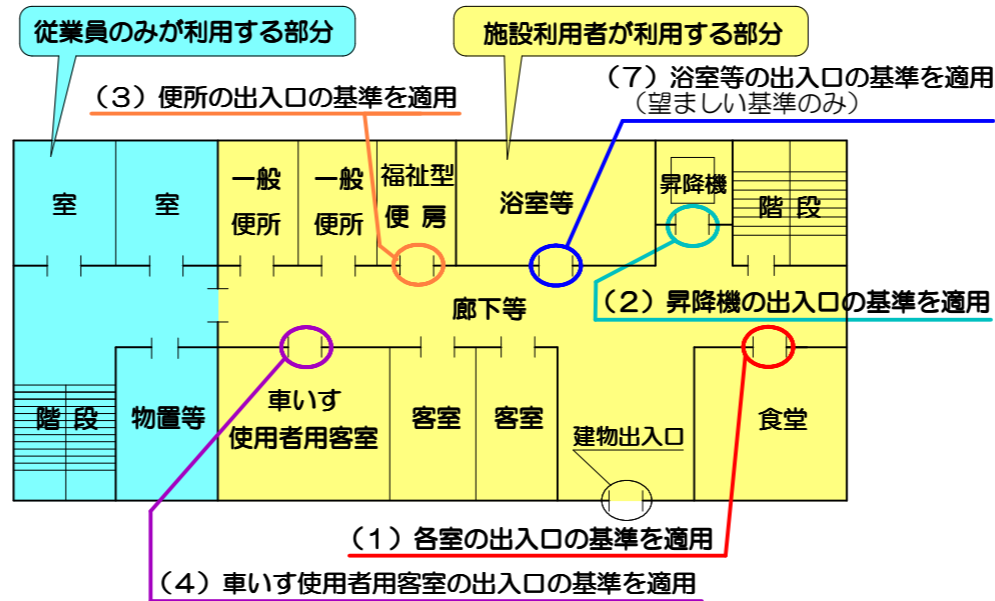
福岡県福祉のまちづくり条例 建築物内部の出入口に関する基準の適用例

●階全体への適用例

・適用例1

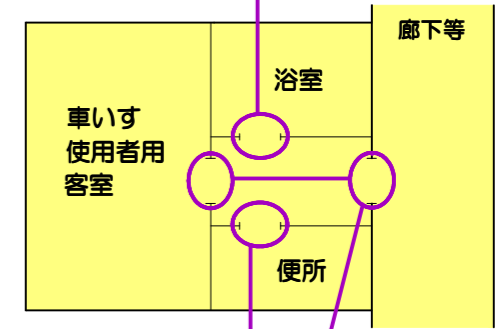


・適用例2（宿泊施設の場合）



●車いす使用者用客室部分への適用例

(6) 車いす使用者用客室内の浴室等の出入口の基準を適用

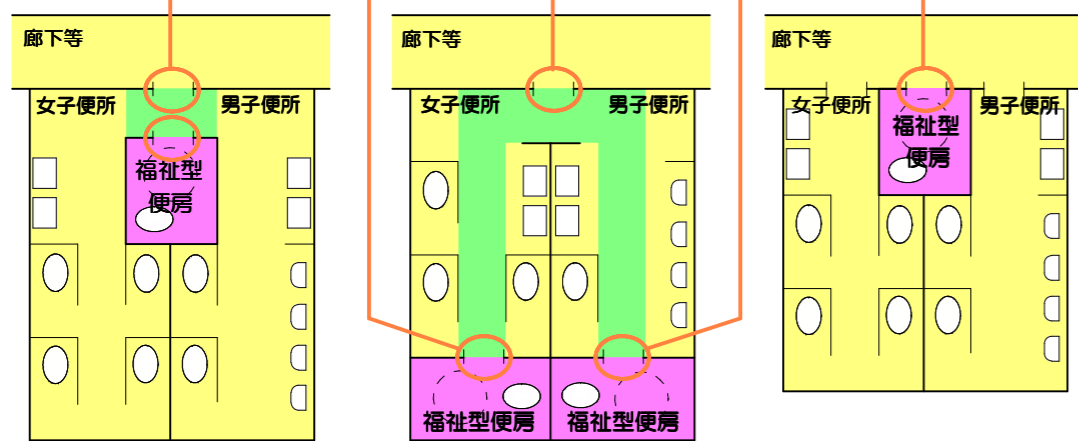


(5) 車いす使用者用客室内の便所の出入口の基準を適用

(4) 車いす使用者用客室の出入口の基準を適用

●便所部分への適用例

(3) 便所の出入口の基準を適用



福祉型便所

便所内で福祉型便所に至る経路となる部分

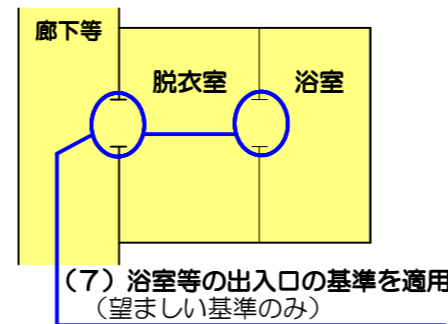
便所内で福祉型便所に至る経路となる部分については、「廊下その他これらに類するもの」の基準は適用されませんが、車いす使用者が通行できる幅を確保したうえで、車いすが回転できるスペースや、転回できるスペース等を、便所の配置に応じて適切に設けることが必要と考えられます。

(参考寸法)

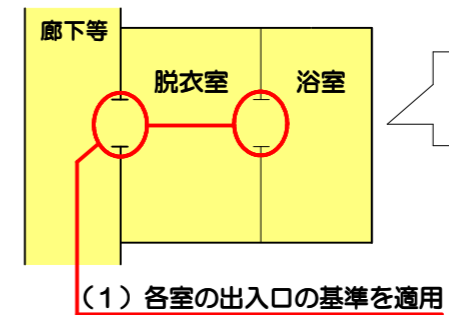
- ・車いすが回転できるスペース …直径1.5m以上の円スペース
- ・車いすが転回できるスペース …1.4m角以上のスペース

●浴室部分への適用例

・一般的な場合



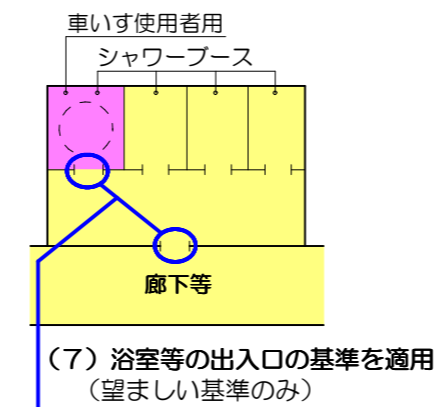
・公衆浴場の大規模な浴室の場合



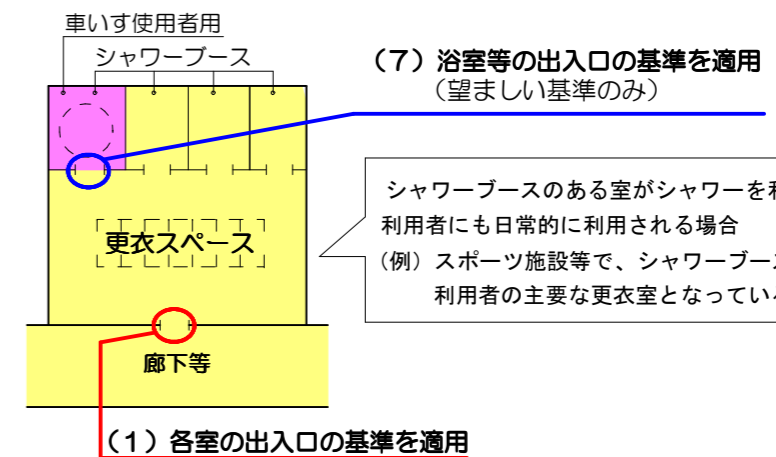
規則別表第1 第16項の施設に設けられる不特定多数の者が同時に利用する浴室。家族風呂等を除く。

●シャワー室部分への適用例

・一般的な場合



・シャワーブースのある室に各室の出入口の基準を適用する場合



シャワーブースのある室がシャワーを利用しない利用者にも日常的に利用される場合
(例) スポーツ施設等で、シャワーブースのある室が利用者の主要な更衣室となっている場合